

# 「身体障害者リハビリテーション研究集会 2016」開催要項

～ “自分らしく生きる” を応援するリハビリテーションを探る～

- 1 目 的 全国の身体障害者施設や身体障害者更生相談所に勤務する職員等が、障害者の支援に関する諸問題、地域におけるリハビリテーションのあり方などについて研究発表を行い、障害者の支援やリハビリテーションの向上を目指すことを目的とする研究集会を実施する。
- 2 主 催 全国身体障害者更生施設長会  
全国身体障害者更生相談所長協議会  
国立障害者リハビリテーションセンター
- 3 後 援 群馬県
- 4 開催日時 平成28年11月17日（木） 10：00～17：30  
18日（金） 9：00～13：00
- 5 会 場 群馬県社会福祉総合センター  
住所：〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12  
TEL：027-255-6000  
JR 新前橋駅東口より徒歩5分  
JR 高崎駅より両毛線・上越線・吾妻線で10分
- 6 内 容
  - (1) テーマ  
「“自分らしく生きる” を応援するリハビリテーションを探る」
  - (2) 講演  
「地域福祉交流センターの取り組みについて」  
株式会社エムダブルエス日高 代表取締役社長 北嶋 史誉
  - (3) 行政説明  
「障害保健福祉施策の動向について（仮題）」  
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部企画課 自立支援振興室  
(併) 企画課・障害福祉課 福祉用具専門官／障害福祉専門官 秋山 仁
  - (4) 基調講演  
「障害受容再考」  
聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科  
准教授 田島 明子

(5) シンポジウム

「旧更生施設の今後の在り方を探る ～めざすべき独自性とは～」

シンポジスト

群馬県立障害者リハビリテーションセンター元利用者	梅澤 勝
かがわ総合リハビリテーション成人支援施設施設長	小島 正平
横浜市総合リハビリテーションセンター自立支援部生活支援課長	青木 昌子
群馬県社会福祉事業団相談支援事業所つばみ相談支援専門員	関口 聡

助言者

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科  
准教授 田島 明子

進 行 群馬県立障害者リハビリテーションセンター副所長 増田 浩明

(6) 研究発表

区分Ⅰ	プログラムに関する取り組み
区分Ⅱ	就労支援に関する取り組み
区分Ⅲ	地域移行等に関する取り組み
区分Ⅳ	更生相談所の取り組み

※エビデンスに関する取り組みや外部への発信の工夫の取り組み等も積極的にエントリーしてください。

※区分Ⅰ～Ⅳのエントリーの有無を確認したい場合は大会事務局にお問い合わせください。

ご参加になりたい発表テーマ区分をお選びいただきますが、会場の規模によりご希望に添えず変更をお願いすることもありますので、ご協力ください。

7 スケジュール 別紙のとおり

8 研究発表申し込み方法

(1) 発表希望者は、研究発表テーマごとに発表題目を決め、「研究発表申込書」にて、「身体障害者リハビリテーション研究集会 2016 大会事務局」奥寺・菊池まで申し込みください。

研究発表申込期限 平成28年9月9日(金)

(2) 発表原稿の提出期限

平成28年9月30日(金)

「研究発表原稿作成要領」を同封いたしますので、発表希望者はご確認の上、ご提出ください。

(3) その他

ア 発表時間は、10分を厳守してください。質疑応答の時間は2分とします。

(※当日使用予定 PC・・・OS : Windows、ソフト : PowerPoint2013)

イ 申し込み状況や発表内容によっては、発表テーマ区分の変更をお願いすることもありますので、ご協力ください。

## 9 研究集会参加申し込みについて

- (1) 申込締切 平成28年9月30日(金)
- (2) 参加費 一人 6,000円 (意見交換会・懇親会の費用はのぞく)
- (3) 発表者の方も研究集会への参加申し込みは別途必要となります。
- (4) 全国身体障害者更生施設長会幹事会・総会にご出席する方も研究集会への参加申し込みは別途必要となります。
- (5) 申込者の個人情報、大会事務局及び当事務局が指名する農協観光群馬支店のみが取り扱います。また、ご提供いただいた情報は、本研究集会以外には使用いたしません。

## 10 意見交換会・懇親会

- (1) 参加費 一人 5,000円 (別紙、参加・宿泊等申込書にてお申し込み下さい。)
- (2) お互いの取り組みや課題について、情報交換や意見交換の場を設けましたので、皆様ふるってご参加ください。

## 11 参加者数(予定) 150人

参加希望者は別紙「参加・宿泊等申込書」に必要事項を記入の上、  
(株)農協観光 群馬支店に郵送またはFAXでお申し込みください。

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番地 JAビル

FAX: 027-220-2189

担当: 佐藤

※車いすご利用の方や手話通訳ご希望の方は、「参加申込書の備考欄」にご記入ください。

※お車でお越しの方は、「参加申込書の備考欄」にお車の台数をご記入ください。

## 12 施設見学について

群馬県立障害者リハビリテーションセンターは、新棟建設工事中(平成29年1月開所予定)のため見学会は実施いたしません。

## 13 次回開催予定

日時 平成29年11月9日(木)～10日(金)

場所 ウィルあいち

事務局 社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団  
名古屋市総合リハビリテーションセンター

## 14 身体障害者リハビリテーション研究集会2016 大会事務局

〒372-0001 群馬県伊勢崎市波志江町3030-1

群馬県立障害者リハビリテーションセンター

生活支援部自立支援課 担当: 奥寺・菊池

TEL: 0270-24-2678 (代)

FAX: 0270-23-4988

E-mail: reha-kousei@gswc.or.jp

群馬県立障害者リハビリテーションセンター  
 奥寺・菊池 行  
 FAX：0270-23-4988

身体障害者リハビリテーション研究集会 2016・研究発表申込書

発表者氏名	ふりがな	
	発表者 氏 名	
	E-mail	
職種 (○を付けてください)	生活支援員、ケアワーカー (介護福祉士・その他)、就労支援員、寮母、 ソーシャルワーカー (社会福祉士・その他)、医師、看護師、理学療法士、 作業療法士、言語聴覚士、心理職、その他 ( )	
共同発表者		
所属機関名	電話	— — (内線 )
	FAX	— —
発表題目及び区分  事務局で検討しテーマ区分の変更をお願いすることも あります。ご協力ください。	1 発表題目  2 区分 以下の希望区分に○を付けてください。 区分Ⅰ＝プログラムに関する取り組み 区分Ⅱ＝就労支援に関する取り組み 区分Ⅲ＝地域移行等に関する取り組み 区分Ⅳ＝更生相談所の取り組み	
パワーポイントの使用	1 使用する 2 使用しない (いずれかに○をしてください。)	
(通信欄) 発表等に関して、ご要望がござ いましたらご記入ください。		

申し込み締め切り 平成28年9月9日 (金)

(申し込み先)

※申し込みは郵送または FAX にてお願いします

身体障害者リハビリテーション研究集会 2016 大会事務局

〒372-0001 群馬県伊勢崎市波志江町3030-1

群馬県立障害者リハビリテーションセンター

生活支援部自立支援課 担当：奥寺・菊池

TEL：0270-24-2678 (代) FAX：0270-23-4988

## 身体障害者リハビリテーション研究集会 2016 研究発表原稿作成要領

### 1 提出原稿の形式及びページ数

研究発表の原稿作成については、各発表（1件）当たり、研究発表集録（A4版）の2ページ分の割り当てとなりますので、ご注意ください。

原稿は Microsoft Word を用い、**明朝体**で作成し、**標準10ポイント**で作成してください。（ページ数は2ページとなります。厳守してください。）

なお、作成していただく原稿は、A4版サイズ（縦長）、横書き**2段組**とし、発表題目、発表者氏名、所属機関名及び本文の割り付けについては、別紙作成見本の図のようにお願いします。

一つの方法ですが、以下の方法で進めると、比較的簡単に作成しやすいと思います。

#### ① 事前作業

文字ポイント設定 「MS 明朝 10ポイント」

ページレイアウト

ページ設定→文字数と行数の指定 「標準の文字数を使う」

余白 「上20mm、下20mm、左20mm、右20mm」

#### ② 発表題目などの入力

1行目…発表題目

3行目…副題

5行目…発表者氏名、（連名の場合は演者に○印）

6行目…所属機関名、（ ）で囲む

6行目までをセンタリングし、発表題目のみを14ポイントに変更する

#### ③ 段組みの設定

8行目にカーソルを合わせる

ページレイアウト

区切り 「現在の位置から開始」

段組み→段組みの詳細設定 「種類 2段」

「段数 2」

「段の幅 21.93字」

「間隔 2.02字」

※幅はバージョンによって異なります。

(1) 発表題目・発表者氏名・所属機関名・本文の記入方法

- ア 「**発表題目**」は、**MS明朝14ポイント**、副題は普通文字で書いてください。
- イ 「**発表者氏名**」は、**第5行目**、連名の場合には、演者の氏名の前に○印を付けてください。
- ウ 「**所属機関名**」は、**第6行目**に、発表者氏名の下に**カッコでくくって**記入してください。
- エ 「**本文**」は、「所属機関名」の行から1行あけたところから（第8行目から）、書き始めてください。
- オ 「**見出しの符号**」は、次の順序で使用してください。

1

(1)

ア

(ア)

a

(a)

(2) 図と表の使用

図と表の使用についての制限はありませんが、全てが印字の枠の中におさまるようにしてください。具体的には原稿に直接書き入れるか、あるいは書いたものを縮小するなどして貼り付けてください。

(3) 研究発表集録

研究発表集録については、提出された原稿をそのまま印刷しますので、原稿提出に当たっては、発表者の責任において厳正に校正をしてください。

2 原稿の送付

(1) 原稿送付上の留意点

原稿の送付方法は、Word原稿のまま、E-mail添付文書で送付するか、CD-ROM等に保存して郵送するか、どちらかを選択してください。

(2) 原稿締め切り

**平成28年9月30日（金）大会事務局必着**

3 その他

(1) 研究発表については、発表の持ち時間を勘案の上、内容をまとめてください。

研究発表にパソコンとプロジェクターを使用する場合のアプリケーションは、PowerPointのみとします（※当日使用予定パソコン…OS：Windows、ソフト：PowerPoint2013）。当日は主催者手配のパソコンを使用させていただきます。事前にご提出いただいた発表資料をあらかじめ保存しておきます。スピーカーにはつながりませんので、楽曲や音声が含まれていても、会場内には流せません。

- (2) 発表資料の送付は、以下の2通りの方法のどちらでも結構ですが、11月9日(水)までに大会事務局まで送付してください。発表者ご持参のパソコンの使用及び発表当日の資料の差し替え・追加等はできませんので、ご了承ください。

〔方法1〕

発表する PowerPoint の内容を保存した CD-ROM 等を郵送してください。CD-ROM 等に発表題名、発表者氏名、所属機関名を記入してください。また、CD-ROM 等は必ずバックアップを取っておいてください。

【記入例】

発表題目 「高次脳機能障害者の現状と課題」  
発表者氏名 群馬 太郎  
所属機関名 リハビリテーションセンター 生活支援部自立支援課

〔方法2〕

発表する PowerPoint の内容を E-mail 添付文書で送付してください。メール文中にも発表題名、発表者氏名、所属機関名を記載してください。

- (3) 別紙の研究発表原稿作成の見本は、レイアウトをわかりやすくするために作成したものですので参考にしてください。
- (4) 申し込み状況や発表内容によっては、発表テーマ区分の変更をお願いすることもありますので、ご協力ください。
- (5) **研究発表時に上記パソコン以外に特別に準備する物がある場合には、事前に大会事務局までご連絡ください。**

発表原稿・CD-ROM 等の送付先及び問い合わせ先

〒372-0001

群馬県伊勢崎市波志江町3030-1

群馬県立障害者リハビリテーションセンター

身体障害者リハビリテーション研究集会 2016 大会事務局

担当：奥寺・菊池

TEL：0270-24-2678 (代)

FAX：0270-23-4988

E-mail：reha-kousei@gswc.or.jp

### 研究発表原稿作成見本

A4版縦長・横書き2段組

{1ページ目}

20mm

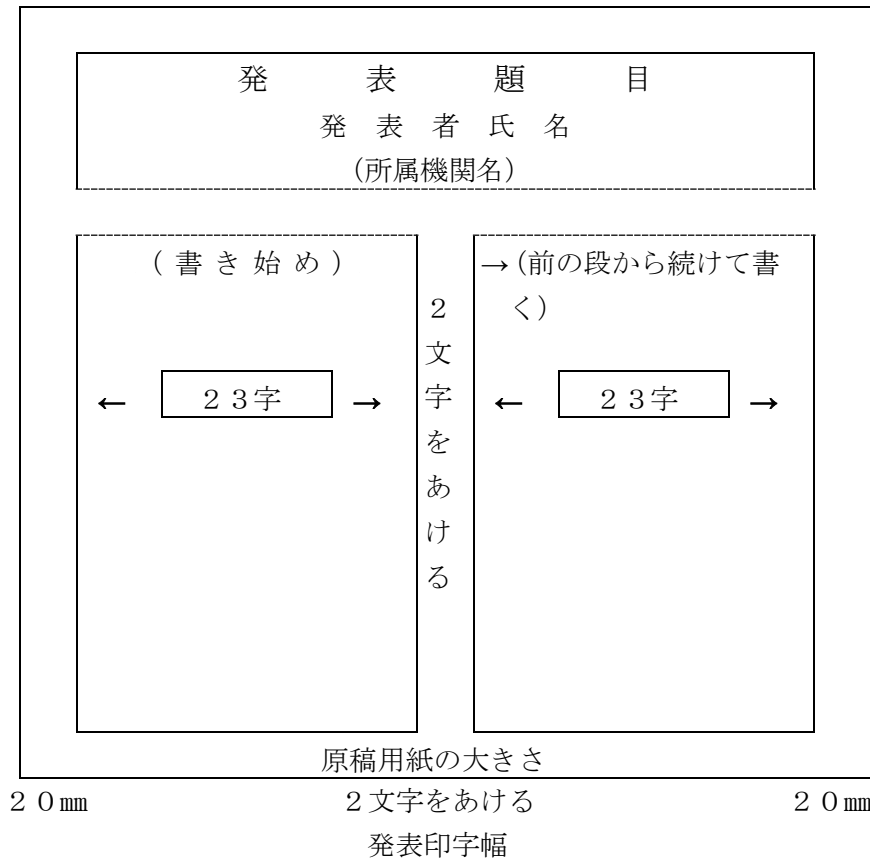
6行

1行あける

(8行目)

48行

20mm



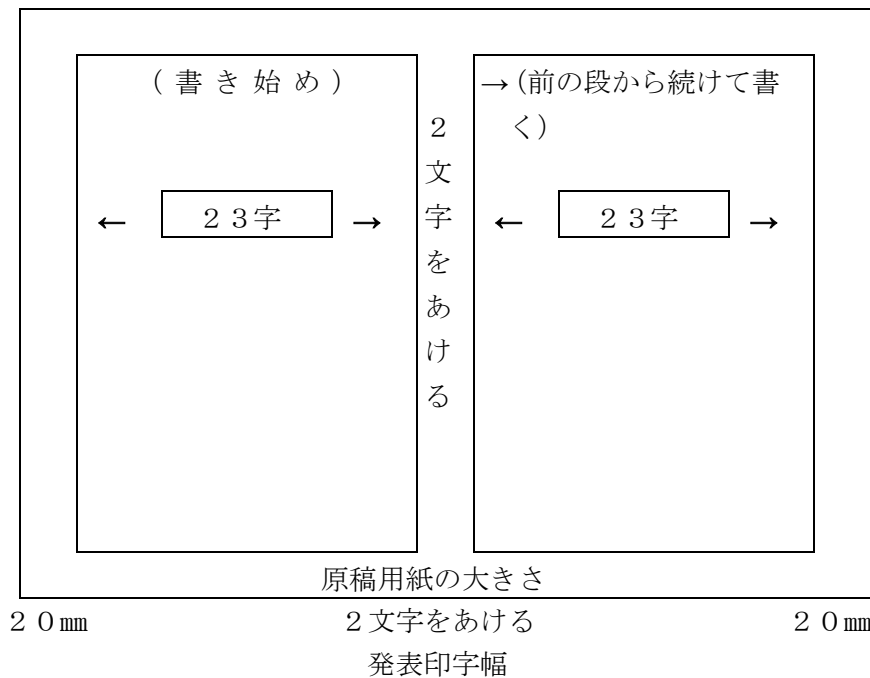
{2ページ目}

A4版縦長・横書き2段組

20mm

56行

20mm





身体障害者リハビリテーション研究集会2016 スケジュール

～“自分らしく生きる”を応援するリハビリテーションを探る～

11月17日(木)【第1日目】

11月18日(金)【第2日目】

<p style="text-align: center;"><b>受付</b> (9:30 ~ 10:00)</p>	<p style="text-align: center;"><b>受付・事務連絡</b> (8:30 ~ 9:00)</p>
<p style="text-align: center;"><b>開会式</b> (10:00 ~ 10:30)</p>	<p style="text-align: center;"><b>行政説明</b> (9:00 ~ 9:30) 「障害保健福祉施策の動向について(仮題)」 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課 自立支援振興室(併)企画課・障害福祉課 福祉用具専門官/障害福祉専門官 秋山 仁</p>
<p style="text-align: center;"><b>講演</b> (10:30 ~ 11:40) 「地域福祉交流センターの取り組みについて」 株式会社エムダブルエス日高 代表取締役社長 北嶋 史誉</p>	<p style="text-align: center;"><b>基調講演</b> (9:30 ~ 10:50) 「障害受容再考」 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 田島 明子</p>
<p style="text-align: center;"><b>機能訓練実態調査結果報告</b> (11:50 ~ 12:30) かがわ総合リハビリテーション成人支援施設 施設長 小島 正平</p>	<p style="text-align: center;"><b>シンポジウム</b> (11:00 ~ 12:50) 「旧更生施設の今後の在り方を探る ～めざすべき独自性とは～」 シンポジスト 群馬県立障害者リハビリテーションセンター 元利用者 梅澤 勝 かがわ総合リハビリテーション成人支援施設 施設長 小島 正平 横浜市総合リハビリテーションセンター 自立支援部生活支援課長 青木 昌子 群馬県社会福祉事業団相談支援事業所つぼみ 相談支援専門員 関口 聡 助言者 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 田島 明子 進行 群馬県立障害者リハビリテーションセンター 副所長 増田 浩明</p>
<p style="text-align: center;"><b>昼食・休憩</b> (12:30 ~ 13:30)</p>	<p style="text-align: center;"><b>閉会式</b> (12:50 ~ 13:00)</p>
<p style="text-align: center;"><b>研究発表</b> (13:30 ~ 17:30) 区分Ⅰ プログラムに関する取り組み 区分Ⅱ 就労支援に関する取り組み 区分Ⅲ 地域移行等に関する取り組み 区分Ⅳ 更生相談所の取り組み</p>	
<p style="text-align: center;"><b>意見交換会・懇親会</b> (18:00 ~ 20:00) 会場：ホテル ラシーネ新前橋</p>	

# 群馬県社会福祉総合センター 駐車場案内図

